

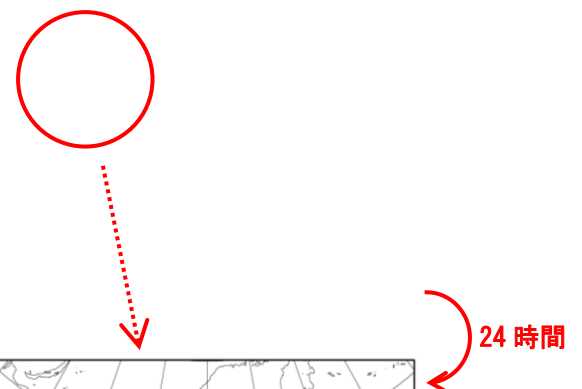
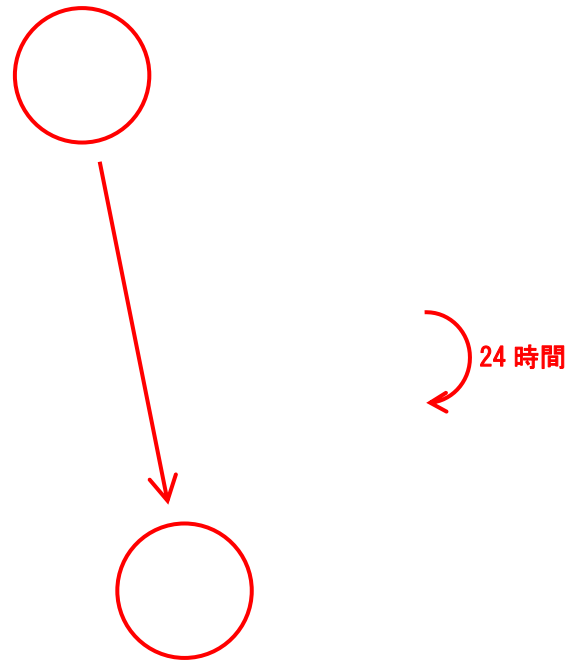
発達する低気圧としない低気圧

2014 年 11 月 28 日 9 時

2014 年 11 月 29 日 9 時

2014 年 11 月 30 日 9 時

2014 年 12 月 1 日 9 時



(気象庁のウェブページより入手)

1 2 月 1 日 9 時の地上天気図を予想してみよう。

1 1 月 3 0 日 9 時

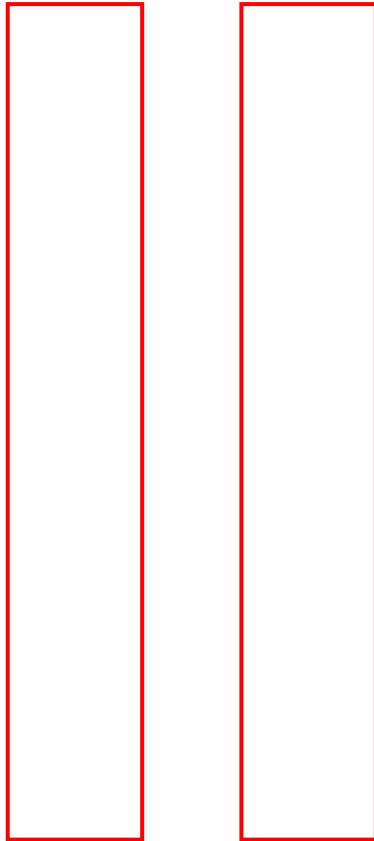
ア

イ

1 2 月 1 日 9 時

ウ

ちなみに 1 1 月 2 8 日の天気予報では…



(気象庁発表、日本気象協会のウェブページより)

だいたい同じ感じ？

⇒気象通報を聴いて 1 2 月 1 日の地上天気図を描いてみよう

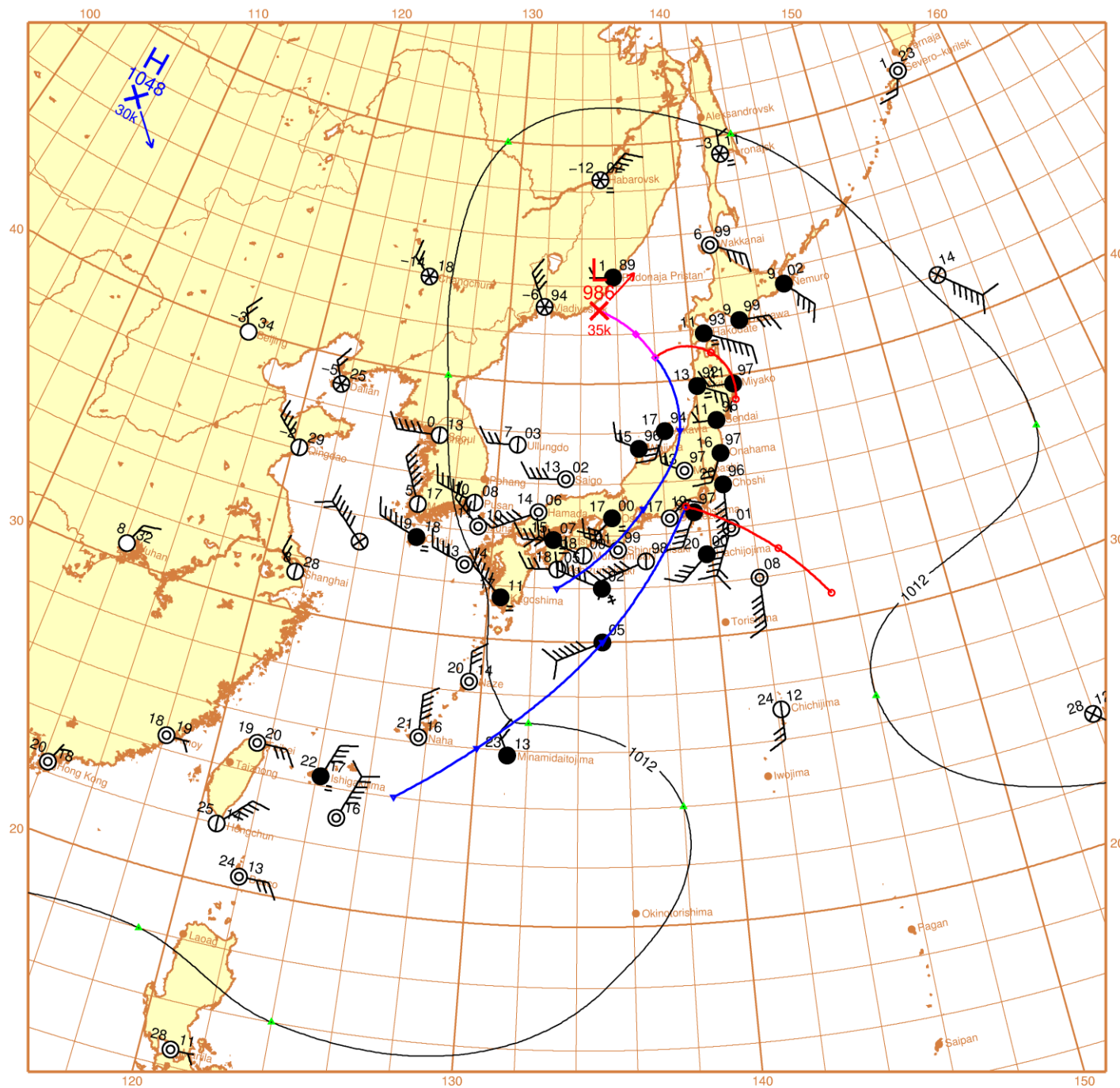
②地上天気図を描こう

漁業気象通報放送原稿 その1 2014年12月1日正午

2014年12月1日正午その2終わり=

2014年12月1日正午その1終わり=

漁業気象通報放送原稿その2 2014年12月1日正午



Date: Dec. 1, 2014 12月1日

Time: 12:00 JST

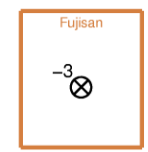
記入済みなので、あとは等圧線を4hPaごとに引くだけです。

描けたら、①の予想や11月29日の天気図と比較してみましょう。

予想は当たりましたか？

11/29 と 12/1 では何が違いますか？

⇒次は高層天気図です。



Name:

【参考】

冬型の気圧配置、九州北部で暴風のおそれ 山地では積雪も

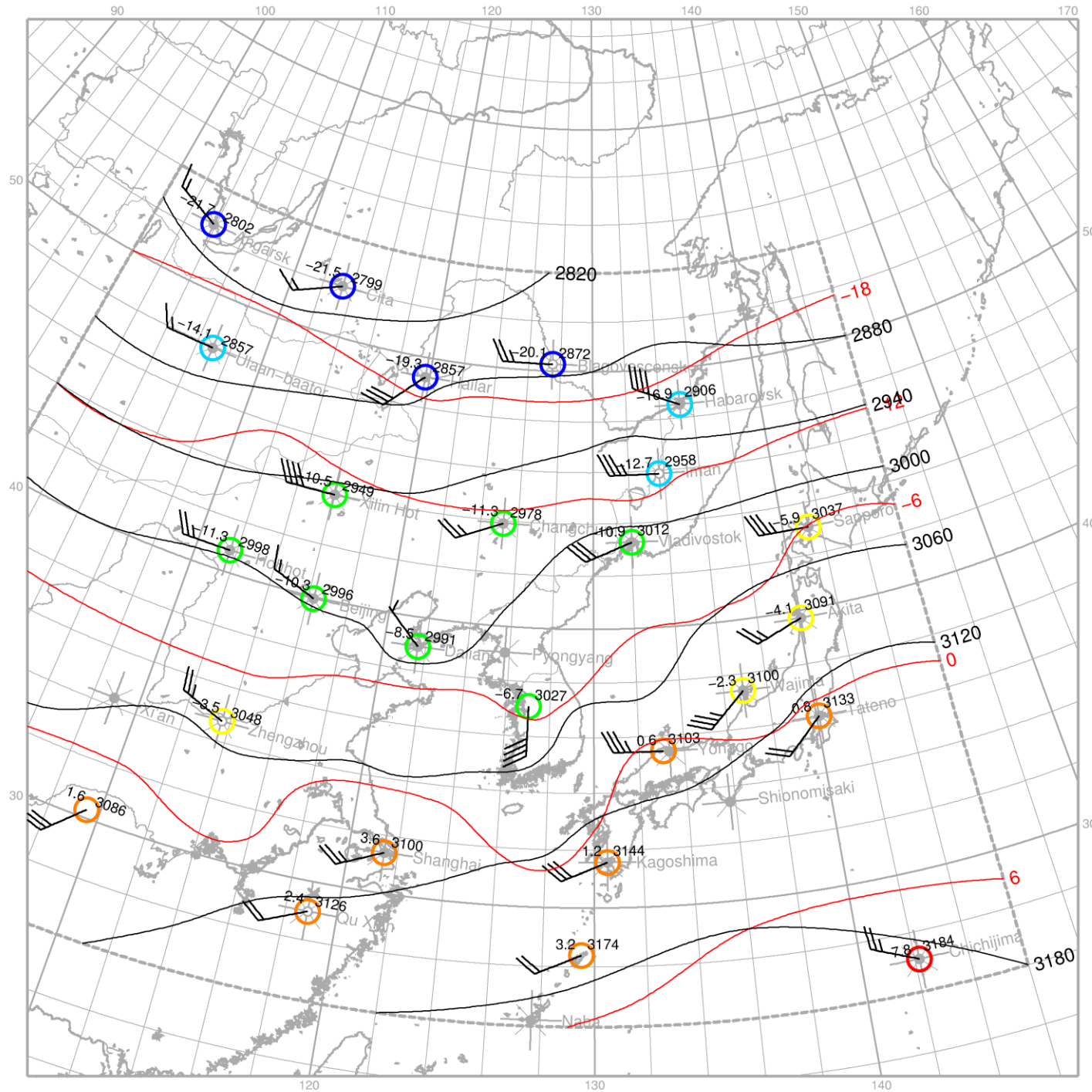
2014年12月 1日13時00分

朝日新聞デジタル <http://www.asahi.com/articles/ASGD13T0JGD1TIPE00G.html> より

強い冬型、2日全国的に荒れ模様 気象庁が注意呼びかけ

2014年12月 1日20時49分

朝日新聞デジタル <http://www.asahi.com/articles/ASGD15V6LGD1UTIL03F.html> より



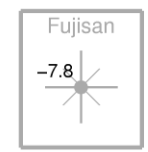
Date: Nov. 28, 2014 11月28日
Time: 09:00 JST
Level: 700 hPa

③高層天気図を描こう

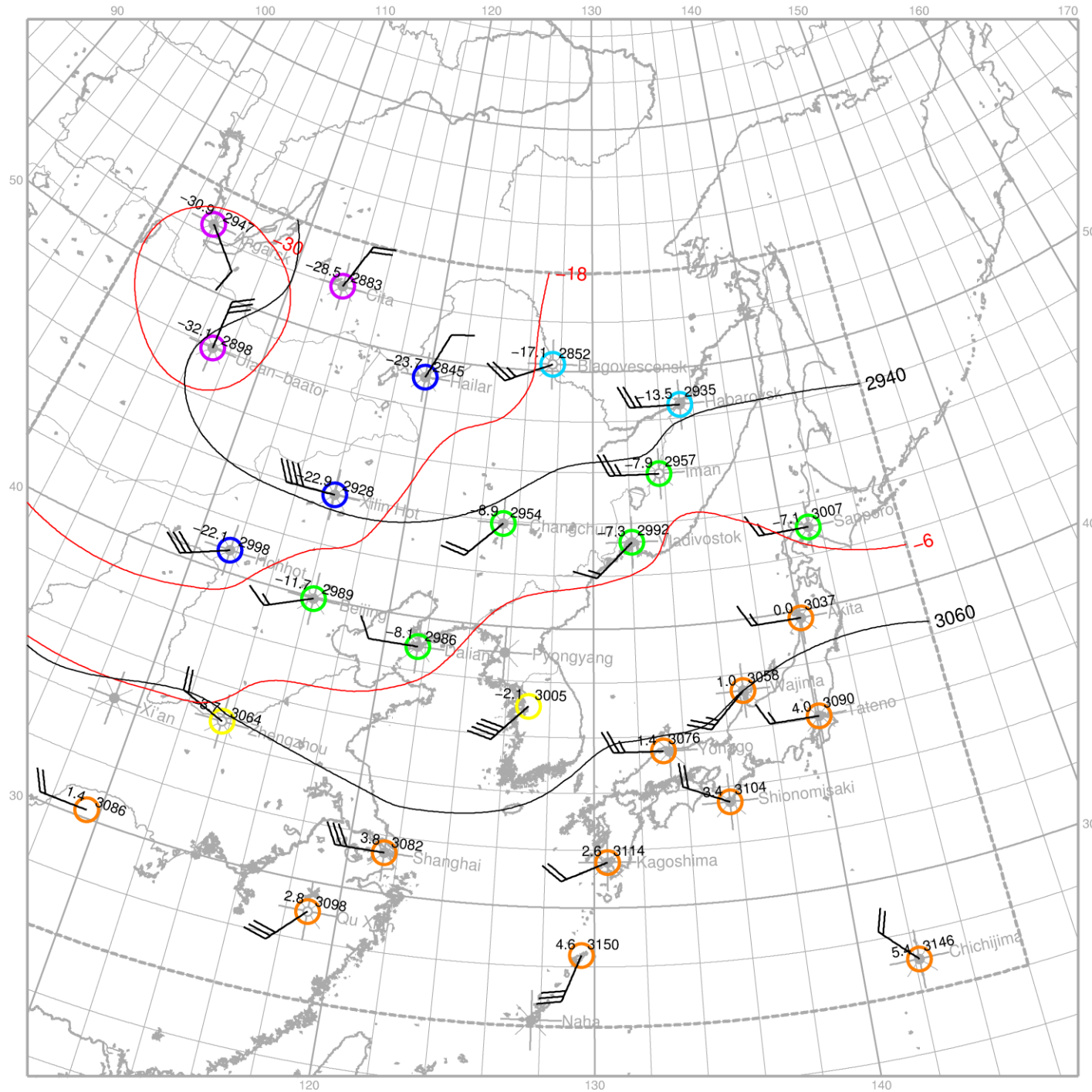
高層天気図を描いて、12月1日のような結果になった原因を考えてみましょう。

これは11月28日の700 hPa天気図です。

⇒この天気図をまねて、11月30日の700 hPa天気図を完成させよう。



Name:



Date: Nov. 30, 2014 11月30日

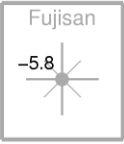
Time: 09:00 JST

Level: 700 hPa

等高度線は60mごと、等温線は6℃ごとに引きます。足りない線を補って、天気図を完成させてください。

11月28日と30日では何が違うか考えてみましょう。

偏西風の吹き方はどうですか？
温度分布はどうなっていますか？



Name:

ワークシートA： 天気図の作成と利用（1） 地上天気図と高層天気図の概観

学生番号： _____ 氏名： _____

質問1 【③差異点と共通点】

1 1月29日の地上天気図と1 2月1日の地上天気図の共通点と違いは何ですか。

質問2 【④変化とその要因】

1 1月29日の天気と1 2月1日の天気はどう違いますか。また、違いが生じた原因は何ですか。気象情報、ニュース、地上天気図を見て考えてください。

質問3 【③差異点と共通点】

1 1月28日の高層天気図と1 1月30日の高層天気図の等高度線（等圧面高度の分布、気圧の分布）の共通点と違いは何ですか。

質問4 【③差異点と共通点】

1 1月28日の高層天気図と1 1月30日の高層天気図の等温線（気温の分布）の共通点と違いは何ですか。

質問5 【⑤条件制御】【⑥推論】

1 1月28日と1 1月30日の地上天気図と高層天気図を見て、1 2月1日のほうが荒れた天気になった原因を考えてください。そのように考えた根拠も示してください。
